



平成29年8月吉日  
第1回 日本ダウン症会議  
<http://jcds2017.sakura.ne.jp/>  
大会長 玉井 邦夫  
公益財団法人日本ダウン症協会代表理事

## 第1回 日本ダウン症会議への寄付金のお願い

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

公益財団法人日本ダウン症協会並びに日本ダウン症療育研究会、日本発達障害学会では共通の認識を持って、新たに「日本ダウン症会議」を開催いたします。公益財団法人日本ダウン協会（JDS）は、任意団体としての発足から約20年を数えました。この間、旧小鳩会の財団法人格を継承し、現在は新法人制度のもと、公益財団法人として活動しています。53支部・準支部5700名の会員を擁し、わが国のダウン症当事者団体として一定の社会的認知を受けるようになりました。

ダウン症（ダウン症候群）の当事者団体活動はすでに国際的な広がりを持っており、JDSもアジア太平洋ダウン症連盟ならびに国際ダウン症連盟(DSi)のメンバーになっています。こうした国際的な連盟からは、日本における大会開催を求める声が年々強まってきています。しかし、わが国ではまだ国内におけるダウン症関係の全国的な会議（National Congress）の開催実績がなく、国際会議を主催するにはまだあまりにも力不足です。

また、過去90年間より、平均寿命が6倍超になるなど、その状況が飛躍的に変化してきています。同時に、かつては見えていなかった各種の課題が次々と明らかにされてきています。医療においてはさまざまな薬物療法の可能性が探られる一方、出生前検査（診断）議論の矢面に立っています。福祉においても教育においても戦後最大級の政策転換期を迎えています。

昨年来検討を加えて参りましたが、本年11月11日（土）～12日（日）に東京・豊島区の大正大学を会場として特別講演、市民講座、分科会（医療・保育・教育・福祉・就労のテーマごとにわかれて専門家およびダウン症のある本人を交えての討議）の内容で「第1回 日本ダウン症会議」を開催いたします。650名の規模で内閣府、外務省、文部科学省、厚生労働省、東京都の後援を予定しております。

第1回につきましては啓発的意義と、専門家／支援者の“ネットワーク構築”に重点を置いたものと考えております。ゆくゆくは支援者と保護者がともに参加する、ダウン症に関する広範な領域をカバーした研修／交流の場にしていく所存です。

活動の趣旨は上記のとおりでございます。別紙「寄付申込書」をご参照いただき、何卒ご支援賜われますよう、衷心よりお願い申し上げます。

敬具